令和８年度第２回

みんなでまちづくり会議

総合振興計画第四期基本計画の策定について

『こうなったらいいな』が、まちの未来の設計図になります。

令和8年9月18日

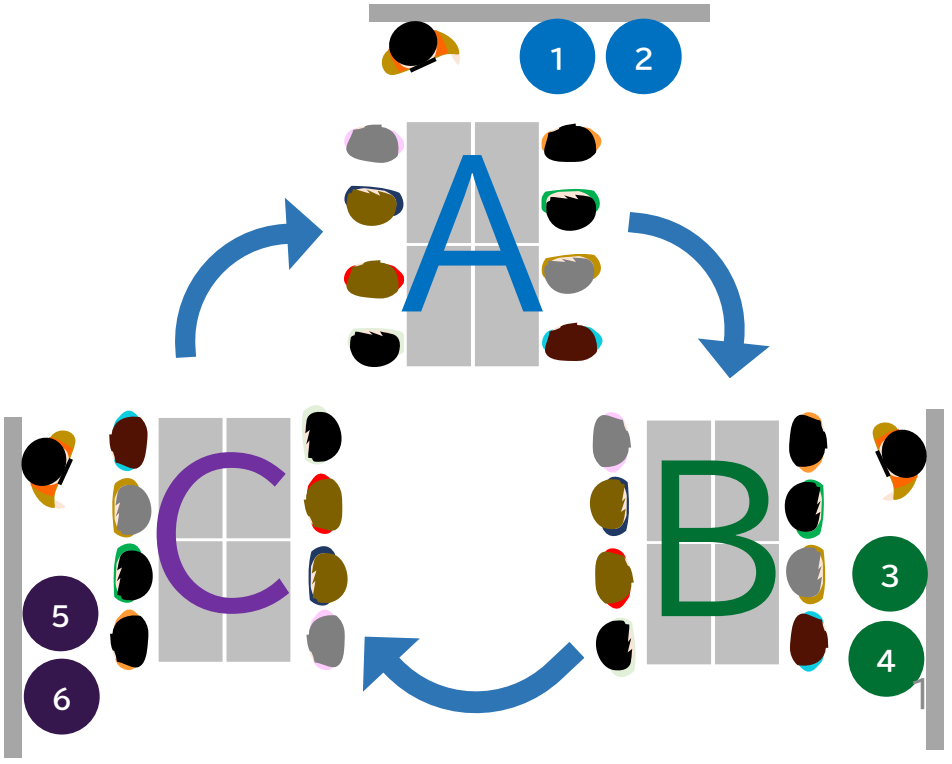
総合政策課・みんなでまちづくり課

本日のタイムテーブル

- 15:00– 15:50　資料+6テーマ　説明
- 10分休憩
- 16:00–17:30　2テーマ×3テーブル
  （各テーブル30分程度）
- 17:30–17:50　アイデアの集約・発表
  （各テーブル5分程度）
- 17:50–18:00　総評・終了

3つのグループに分かれ、
各テーブルで2つのテーマ
について意見出し

⇒　次のテーブルへ



本日のテーマ：

草加市総合振興計画 第四期基本計画とは？

総合振興計画
基本構想

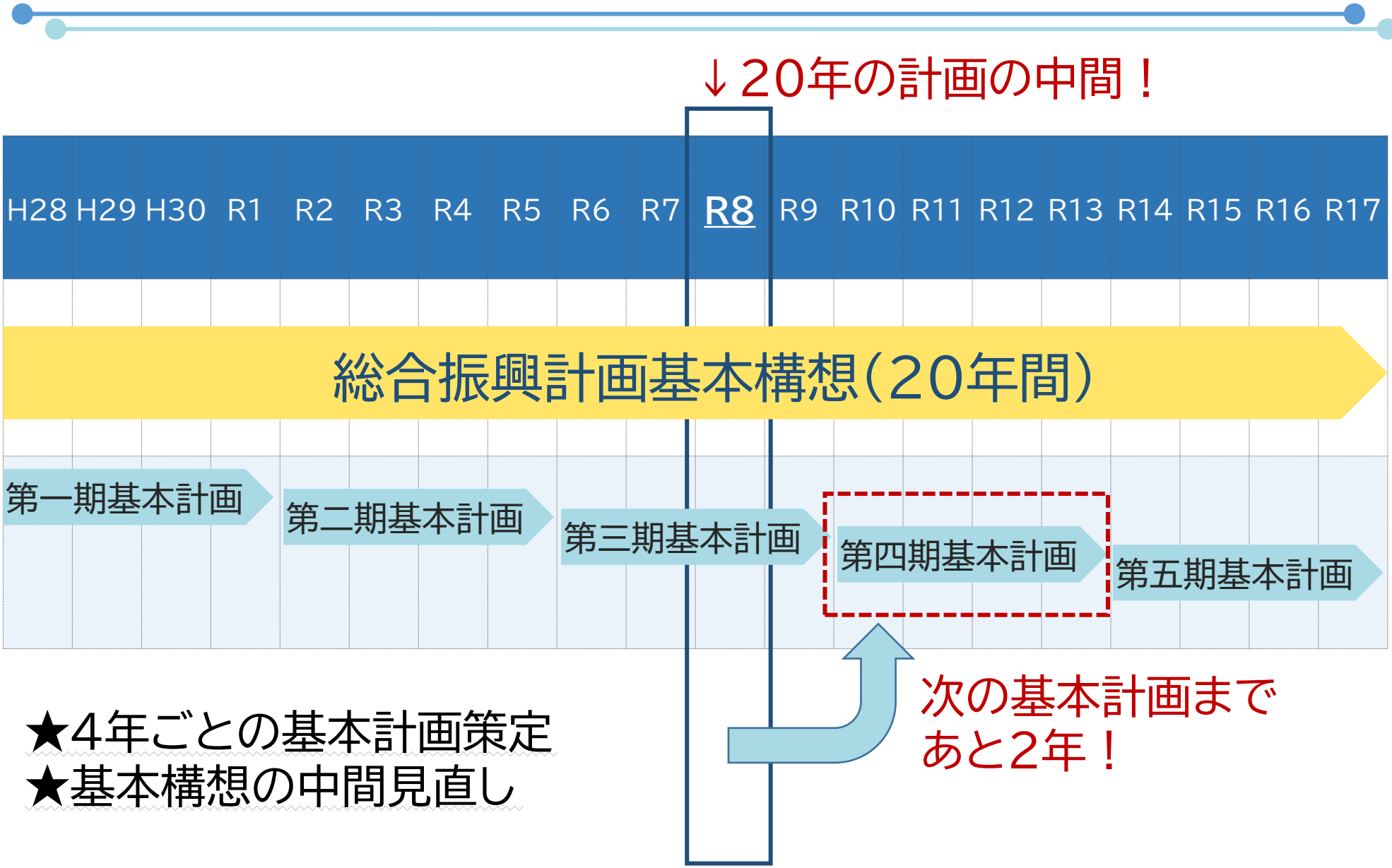
草加市の最高規範「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」の理念を実現するために定めた**「まちづくりの指針」**

基本計画

総合振興計画を土台として、**市として取り組むべき施策**を定めたもの

本日のテーマ：

草加市総合振興計画　第四期基本計画とは



★4年ごとの基本計画策定
★基本構想の中間見直し

本日のテーマ：

草加市総合振興計画　第四期基本計画とは

総合振興計画基本構想の内容

まちづくりの基本姿勢

- 「地域の豊かさ」を最優先に考える
- つよく、しなやかなまちをつくる
- 「資源」を有効に活用する

めざす都市像

快適都市～地域の豊かさの創出～

構想の体系

- 快適な環境～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる
- 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
- 活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる
- 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
- 地域経営を進める市役所

本日のテーマ：

草加市総合振興計画　第四期基本計画とは

「地域の豊かさ」って？

経済的に高い収入があることだけではありません！

　人と人との「つながり」・「支え合い」によって高まるコミュニティの中で、

・安全で安心して暮らせること
・健康な生活を送れること
・居住環境が快適であること
・趣味や仕事に生きがいを見いだせること　などなど…

暮らしの中に「豊かさ」が実感できること

本日のテーマ:

草加市総合振興計画　第四期基本計画とは

第三期基本計画重点テーマ

基本構想の将来都市像実現に向けて、
その時の社会や市の状況を考慮して前提とすべき視点

1.持続可能性が向上するまちづくり
2.パートナーシップが育つまちづくり
3.多様性を尊重するまちづくり

5つの中目標＝構想の体系

15の小目標

41の施策

中目標	小目標	施策
(1)快適な環境 ～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる	1)水とみどりのまちづくり	施策1 水環境の保全
		施策2 みどりの保全と公園の再生・活性化
	2)環境との共生	施策3 環境を守り育てる
(2)安全と安心 ～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる	1)良好なまちづくり	施策4 良好なまちづくりの推進
	2)安全で円滑な交通	施策5 交通利用環境の改善促進
		施策6 安全で快適な道路の整備
	3)安全性の高いまちづくり	施策7 総合的な治水対策の推進
		施策8 交通安全対策の推進
		施策9 危機管理体制の強化
		施策10 地域安全の推進
		施策11 安全・安心な消費者生活の推進
		施策12 安全で安定した水の供給
		施策13 安定した汚水処理の推進
(3)活気の創出 ～にぎわいのあるまちをつくる	1)にぎわいの創出とものづくりの発信	施策14 地域とともに栄える産業の振興
		施策15 就労支援・勤労者福祉の推進
		施策16 おもてなしの心が息づく観光の振興
	2)心地よい風景づくり	施策17 心地よいまちづくりの推進
(4)地域との共生 ～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる	1)活力と生きがいのある高齢社会	施策18 総合的な高年者施策の推進
	2)みんなで取り組む子育て	施策19 子育て支援の推進
		施策20 幼保小中を一貫した教育の推進
		施策21 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
		施策22 教育環境の整備・充実
		施策23 子ども・青少年育成の充実
	3)ともに暮らす地域づくり	施策24 市民自治の推進
		施策25 地域福祉の推進
		施策26 障がい者福祉の推進
		施策27 生活保護世帯・生活困窮者の自立支援
		施策28 国際交流・地域間交流の推進
		施策29 人権の尊重
	4)草加らしい豊かな暮らし	施策30 学びの成果が発揮される生涯学習の推進
		施策31 草加らしい文化の創造
		施策32 スポーツの推進
		施策33 心と体の健康づくり
		施策34 医療環境の充実
(5)地域経営を進める市役所	1)市民とともに考え行動する職員	施策35 市民とともに考え行動する職員の育成
	2)「地域の豊かさ」を創出するための組織	施策36 市民参画制度の推進
		施策37 社会ニーズへの的確な対応
		施策38 市役所の情報化の推進
	3)情報公開から情報共有へ	施策39 市政の透明性・公平性の充実
	4)経営手法の導入	施策40 計画的で効果的な行政の推進
		施策41 広域行政・官民連携の推進

計画を策定するまで

職員だけでなく、市民の皆さんの声も取り入れて計画を策定します！

施策評価アンケート（無作為抽出3,000人を対象）

みんなでまちづくり会議
（まちづくり登録員、SDGsパートナー、学生の皆さんなど）

みんなでまちづくり会議デジタル版（ネット意見募集）

審議会（市民の代表、学識経験者など）

パブリックコメント

草加市議会で議決　⇒　次期計画施行！

＊ ６つの施策についてご意見ください！ ＊

① みどりの保全と公園の再生・活性化（施策2）

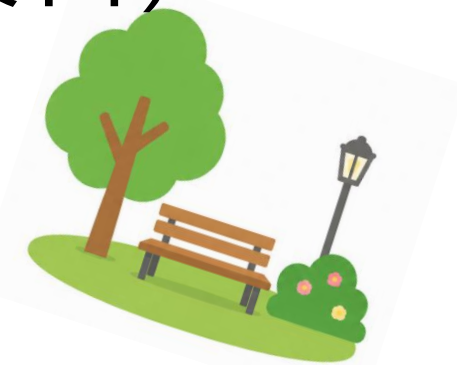
② 良好なまちづくりの推進（施策4）

③ 利用しやすい公共交通網の整備（施策5）

④ 地域とともに栄える産業の振興（施策14）

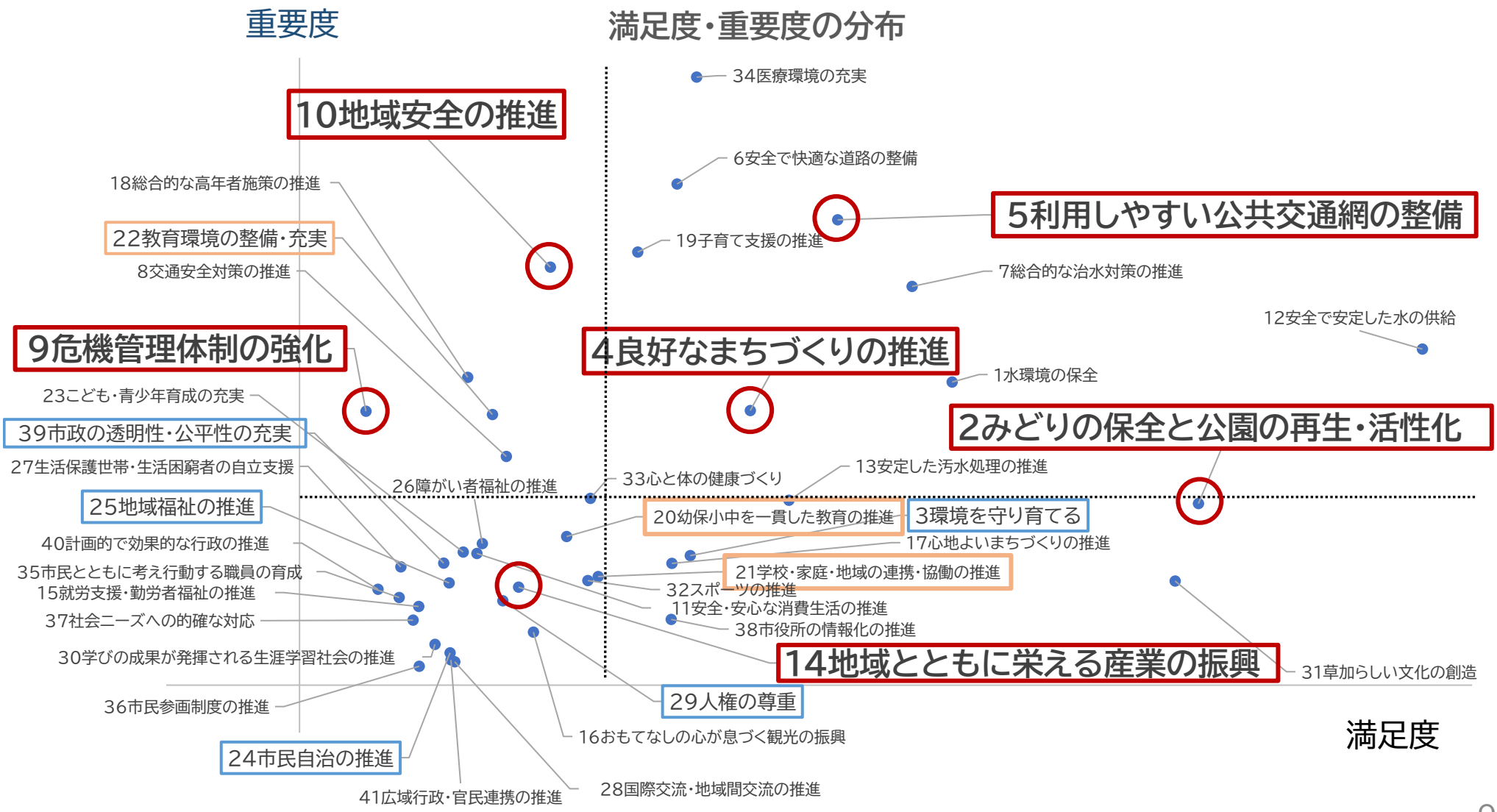
⑤ 危機管理体制の強化（施策9）

⑥ 地域安全の推進（施策10）



＊ 施策評価アンケート結果 ＊

重要度が高い、満足度が低い、または市民の皆様に身近なテーマを選びました。



説明を聴きながら、随時、気になった点やご意見などをお手元のふせんに記入してください。

●次のグループが意見を見られるように、ご意見はふせんに書いてください。

●ご意見は、大きい文字で「何が」「どうした」を書いてください。

施策2　みどりの保全と公園の再生･活性化

施策の意図

身近なみどりとオープンスペースの保全を図るとともに、パーク・マネジメントの視点から公園の再生・活性化を進めます。

みなさんに伺いたいこと

●公園には今後どのようなものが求められるか。
（キーワード） 暑さ対策、防災、インクルーシブ、マルシェ
●担い手と緑地の減少を防ぐためのアイディアは。
（キーワード） 公園管理団体の高齢化、保存樹木等の減少）

●多様なニーズに応える公園機能の拡充

・子どもの遊び場や健康増進、地域コミュニティの形成、憩いや交流など、多様な世代や利用目的に対応する公園機能の充実が求められています。また、猛暑や大雨、地震等の自然災害に備え、日常時の暑熱対策や安全な利用環境の確保に加え、災害時の避難･救援･復旧活動を支える防災拠点としての役割も重要となっています。

●身近なみどりを支える担い手と緑地の減少

・市街地化や相続、農業者の高齢化等を背景に、民有地の緑地･農地、生産緑地、保存樹木等が年々減少し、身近なみどりや災害時の避難空間の確保が難しくなっています。また、町会･自治会等の担い手不足により、緑化活動や公園管理の継続も困難となっています。

※画像は生成AIを活用して作成したイメージです。

施策2　みどりの保全と公園の再生・活性化

施策の柱①　パーク・マネジメントの視点に立った公園の再生・活性化

▸パーク・マネジメントの視点に立ち、地域環境や時代の変化に応じて、コミュニティ形成や防災活動の場として活用できる、地域の拠点となる公園の機能改善を進めます。

●「パーク・マネジメント」とは

パーク・マネジメントとは、行政・市民・NPO・事業所などが連携（官民連携）しながら、地域で公園を管理だけでなく、運営をしていく考え方です。

▶ 重点テーマ③　パートナーシップが育つまちづくり

＜Park-PFI（パーク・ピーエフアイ）＞

都市公園において飲食店、売店等の公園施設の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続

多摩中央公園（多摩市）

南池袋公園（豊島区）

施策の柱②　身近にみどりを感じられる緑地の保全

▸水辺空間やみどりと一体となった歴史・文化資源の保全に取り組み、日常生活の中で誰もがみどりを体感することのできる環境の保全を図ります。

葛西用水

草加松原

施策の柱③　市民との協働による緑化・公園づくり

▸公園のみならず、民有地内の農地・緑地、各住宅や店舗・事務所における緑化の推進を図り、市民と一体となったみどりのネットワーク形成を進めます。

そうか公園マルシェ

谷塚高架下公園

草加五丁目児童遊園

施策2　みどりの保全と公園の再生・活性化

市民アンケートでいただいた意見

①「こどもが思い切り遊べる公園」へのニーズ

ボール遊び、アスレチック、バスケットゴール、水遊び、花火など現在の公園では制限されている活動

②「公園の量・規模」への不満

公園が少ない、大型公園が少ない、地域によって公園環境に差がある、市外の公園を利用している

③「公園の質・管理」へのニーズ

草刈り、遊具の安全点検、トイレ、ベンチ、照明、グラウンドの整備

④「緑をどう残すか」という問題

緑地・街路樹の減少、開発時の緑地確保、農地を含めた緑の保全、市民・ボランティアによる維持管理

施策４　良好なまちづくりの推進

施策の意図　**いつまでも安心して暮らせる持続可能な都市空間の形成を図ります。**

みなさんに伺いたいこと

●利便性とにぎわいのあるまちを継続するにはどうすればいいか。
（キーワード）駅前の活性化、空き家問題、人口減少、超高齢社会、レイクタウン周辺地域（柿木・青柳エリアグランドデザイン）、農地減少（市街化調整区域）

●ハード・ソフト連携による拠点整備と都市機能の向上

人口減少・超高齢社会などの社会環境の変化に対応し、都市基盤等のハード整備と市民主体の活動や健康・福祉等のソフト施策を一体的に進めるとともに、東武スカイツリーライン4駅周辺の魅力向上や民間開発を適正に誘導し、利便性とにぎわいのある持続可能なまちづくりを推進する必要があります。

●民間開発誘導と既存住宅の適正管理による、安全で住みやすいまちの形成

高い民間開発需要を背景に、良好な宅地開発を誘導するとともに、高齢化に伴う住宅確保困難者への「住宅セーフティネット」の取組、木造密集地域の防災対策、老朽マンションや空き家の適正管理を推進し、首都直下型地震などの大規模災害に対応できる、安全で住み続けられるまちづくりを実現する必要があります。

※画像は生成AIを活用して作成したイメージです。

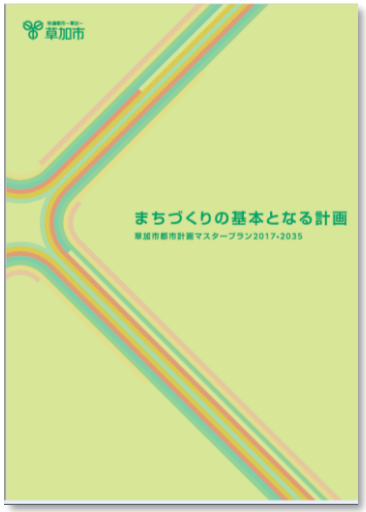
施策４　良好なまちづくりの推進

施策の柱①　良好な市街地の形成

▸市内10のコミュニティブロックごとに、地域との話し合いを通して都市計画マスタープランに掲げる各地区の将来像の実現をめざすとともに、今後のまちづくりの方針や未整備の都市計画道路などの在り方について検討を進めます。

都市計画マスタープラン

土地利用、道路、公園、駅周辺など、都市の“空間”を今後どうしていくかを示す、まちづくりの基本となる計画



施策の柱②　都市核と地域核の形成

▸新田駅東西口における土地区画整理事業を進めるとともに、谷塚駅西口地区における整備の具体化や民間開発等を活用した駅周辺の活性化を進め、市内の4駅周辺のまちの特性にあわせ、地域の核づくりを進めます。

施策の柱③　良好な土地利用の誘導

▸民間建築・開発事業に対し、都市計画法や建築基準法、草加市開発事業等の手続及び基準等に関する条例などの関係法令にもとづき適正な宅地開発を誘導するとともに、地区計画により良好な市街地形成を誘導します。

▸市街化調整区域においては、自然環境と住環境の調和を図るため土地利用方針を明確化するとともに、既存集落についてはみどり豊かな居住環境等の維持に取り組みます。

施策の柱④　良好な住環境の形成

▸高齢者等の住宅の確保が困難な人に対し、民間企業との連携による居住支援の充実や、公営住宅の計画的な維持管理と供給に加え、有効活用されていない空き家等の民間住宅を活用し、住宅の確保の支援を行うなど「住宅セーフティネット」の取組を進め、だれもが安心して暮らせる良好なまちづくりを推進します。

▸木造住宅が密集するなど防災上の課題がある地域における準防火地域の指定に向けた検討や延焼防止帯となる都市計画道路の整備を検討するとともに、マンションの適正管理や既存住宅の耐震化のほか空き家対策などを推進します。

施策４　良好なまちづくりの推進

市民アンケートでいただいた意見

①「住み続けたい場所」へ

駅周辺の再開発、子育て世代の定着、駅周辺と郊外の地域格差、柿木町など郊外部の利便性

②「訪れたい場所」へ

商業施設、飲食店の充実、草加らしい「まちの魅力」

③「過ごしたい場所」へ

若者が過ごせる場所、市外への買い物、消費流出、開発と市民生活のバランス

※画像は生成AIを活用して作成したイメージです。

施策５　利用しやすい公共交通網の整備

施策の意図

将来にわたり市内全域を円滑に移動できるよう、持続可能な公共交通を形成します。

みなさんに伺いたいこと

●持続可能な公共交通網を維持するにはどうすればよいか
（キーワード）バス利用者の減少、路線バスの撤退、運転手不足、地域としての取組

●利便性の高い移動手段を確保するにはどうすればよいか
（キーワード）交通弱者の移動手段、シェアサイクル、乗り合いタクシー

●今後の公共交通のあり方

モビリティマネジメント※の観点や少子高齢化の進行を見据えた今後の公共交通のあり方について考える必要があります。

パリポリくんバス

新たな移動手段（乗り合いタクシー）

※画像は生成AIを活用して作成したイメージです。

※モビリティマネジメントとは…人々の意識や慣習といった社会的・心理的要素に配慮しつつ、「一人ひとりの移動」が社会にも個人にもより望ましい方向へと自発的に変化するように促す手法の総称。

施策５　利用しやすい公共交通網の整備

施策の柱①　利用しやすい公共交通網の整備

▸公共交通の利便性の確保のため、事業者や関係機関との協議・調整を行うとともに、利用者増加のための利用促進活動を推進します。また、関係者とともに、地域の実情に合った公共交通の方向性を検討します。

▸地域全体における輸送資源の有効活用を検討するとともに、新しい移動手段等の導入検討を進めます。

草加市のバス利用促進のための主な事業
（モビリティ・マネジメント）

新たな移動手段（シェアサイクル）

※画像は生成AIを活用して作成したイメージです。

施策５　利用しやすい公共交通網の整備

市民アンケートでいただいた意見

①バスルートに関する不満

行きたい場所に行けない、病院に行きにくい、隣接市への移動がしにくい、駅から離れた地域が不便

②バスの運行本数・時間に関する不満

本数が少ない、夜間運行がない、減便への不満・混雑

③高齢者・免許返納による影響

高齢者の増加、免許返納後の移動が不安、スーパー・病院への移動手段が必要

④バス以外の交通手段に対する意見

タクシー、小型バス、自転車、バス停までのアクセス、隣接市区との連携

施策14　地域とともに栄える産業の振興

施策の意図

「域内経済循環の活性化」と「域外収支の改善（外需獲得）」につながる産業を育成し、「持続可能性」を支える産業構造を構築します。

みなさんに伺いたいこと

●市内経済を発展させるにはどうすればよいか
（キーワード）市内消費低迷、市外への消費流出、地場産業の活用
●農地が減少する中、どのように都市農業を維持するか
（キーワード）高齢化、後継者不足、地産地消、ブランド化

●地域経済の自立度が低い（65.6%）

「地域経済循環率」とは、**地域のお金がどれだけその地域の中で回っているか（経済の自立度）**を表す指標です。
この数値が低いため、域内での経済循環の活性化と、外貨を稼ぐ（外需獲得）ための産業育成が急務です。

●草加市と埼玉県平均の地域経済循環率比較

年	2015年	2018年	2020年	2022年
草加市	61.5%	63.7%	66.0%	65.6%
県平均	76.1%	76.0%	75.8%	75.8%

●市内中小企業の伴走支援と地場産業の振興

急変する社会構造への対応や売上回復に向け、中小企業の複合的課題（創業・承継等）への専門家による伴走支援と、地場産業の維持を図る販売促進策が必要です。

●都市農業の維持・発展と多角的な支援

都市農業の深刻な課題（高齢化・後継者不足・農地減少）に対し、個別ニーズへの支援と、地産地消や販路拡大といった多角的な施策による維持・発展が必要です。

出典：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」
（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）
地域経済循環分析　http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html

施策14　地域とともに栄える産業の振興

施策の柱①　にぎわいの創出

▸市内商店街が実施する商店街活性化に資する各種事業を支援するとともに、リノベーションまちづくり、市内消費の活性化に向けた取組により、**地域に関わる担い手**と連携しながら、顔の見える経済循環を促進させます。

●「リノベーションまちづくり」とは

民間主導により、事業を通じて地域課題を解決し、新たな産業と雇用を生み出すことで地域を再生させる取組み。

家守会社による事業

シェアアトリエ つなぐば（八幡町）
（つなぐば家守舎 株式会社）

個人による事業

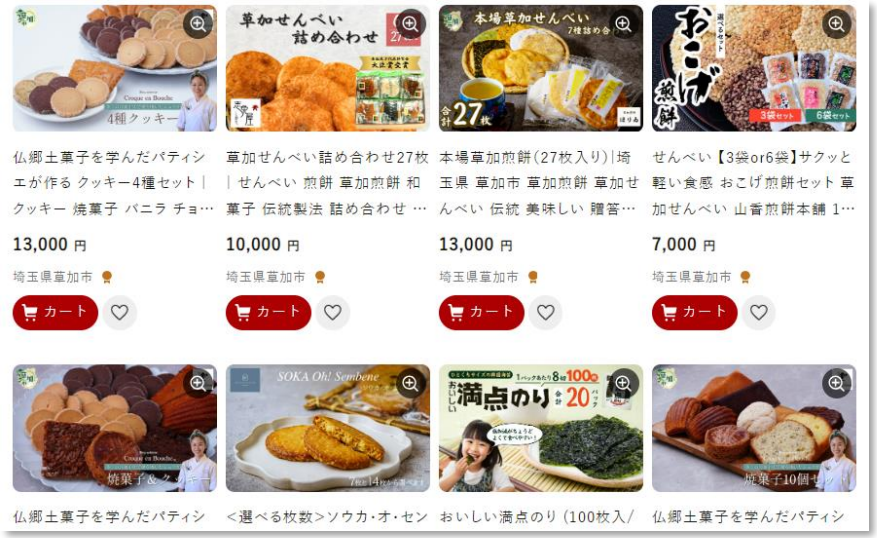
野菜とお酒のバル
スバル（住吉）

施策の柱②　ものづくりの振興

▸商工会議所、地元商店街、中小企業者など地域の方々とともに手を携え、人材の育成、生産技術の改善・向上、ブランド化の促進など必要な支援を必要な機会に提供します。

●ふるさと納税返礼品

ふるさと納税返礼品事業者の支援を行い、この4年間で規模が拡大しています。



施策14　地域とともに栄える産業の振興

施策の柱③　中小企業の経営支援

▸草加商工会議所等と連携した創業支援事業、域内経済循環や事業所の事業活動を活性化するための草加地域経済活性化事業実行委員会への補助、事業者が抱える創業・事業再展開・事業継承などの多様な経営課題に対し、専門人材による伴走支援を行う事業者伴走型創業・再展開支援強化事業、市内金融機関と連携した制度融資、草加商工会議所への補助等による中小企業振興を行います。

本染めゆかた

施策の柱④　地場産業の育成

▸売上向上に積極的に取り組む事業者への支援や、**地域に関わる担い手との連携**を通じたPRなどにより、草加せんべいなどの伝統産業の活性化を図ります。

草加せんべい

皮革製品

施策14　地域とともに栄える産業の振興

施策の柱⑤　都市農業の振興

▸都市農業ワンストップ窓口等の相談業務において、農業者の皆様からの個別の相談に対応して必要となる各種制度や農地の利活用に係る情報提供を行うとともに、農業者の抱えている課題や様々なニーズへのきめ細かな対応を行い、一人ひとりの将来設計に寄り添った支援を進めます。

▸地産地消の推進を図るため、地場農産物を取扱う庭先販売や飲食店等のPRを促進し、地場農産物に触れる機会を拡大するとともに、農業者の販路を拡大するため、**農産物のブランド化**にむけた取組みや民間活力の導入を通じて物流体制の構築を目指します。

●草加市地産地消マップ

草加市では、生産した新鮮な野菜や花などの農産物を、生産者の自宅の庭先や生産畑で販売する農家さんを「庭先販売農家」として指定し、協定を提携することで、農業振興と地産地消の促進を図っています。

草加市地産地消MAP2026

施策14　地域とともに栄える産業の振興

市民アンケートでいただいた意見

①既存資源を生かす

・市外への消費流出を防ぐ
・商店街、駅前を活性化する
・地域内消費を促進する
・草加せんべいなど地域資源を活用する
・柿木町などで都市農業を維持する

②新たな価値をつくる

・魅力的な店舗を増やす
・宿場町として観光、宿泊につなげる
・工場、企業と地域をつなげる

※画像は生成AIを活用して作成したイメージです。

施策９　危機管理体制の強化

施策の意図	**自助・共助・公助による災害に強い安全で安心なまちづくりを推進します。**

みなさんに伺いたいこと

●重要度が高いが、満足度が低い。満足度を上げるにはどうすればよいか

●自助･共助を進めるにはどうすればよいか
（キーワード　防災意識、備蓄、訓練、避難所運営（町会等）、災害弱者、訓練、自主防災組織、消防団）

●危機管理体制･防災基盤の強化

･地域防災計画の改訂を踏まえ、実効性のある危機管理体制を構築するため、各種訓練の充実を図るとともに、大規模災害や感染症等の不測の事態にも対応できるよう、備蓄倉庫などの防災設備･備蓄のさらなる拡充を進める必要があります。また、防災訓練の実施機会を確保し、市民の防災意識の向上を図ることが課題となっています。

●地域防災を担う人材･連携の強化

･大規模災害時の地域防災力を高めるため、消防団員の条例定数充足率の向上に向けた継続的な募集･啓発を行うとともに、女性消防団員の増員を促進する必要があります。さらに、消防･防災関係機関や地域住民が連携した防災活動を強化し、平時から災害時の対応力を高めていくことが課題となっています。

施策９　危機管理体制の強化

施策の柱①
災害対応力の強化及び危機管理体制の構築

▸災害時に適切に対応ができるよう、訓練を定期的に実施し、市職員の防災対応能力の向上に向けた取組を実施するとともに、訓練の課題をフィードバックし、必要に応じて地域防災計画の改定を行います。

▸大規模災害の対応に備えた備蓄倉庫などの設備のさらなる拡充を図るとともに、防災関係機関や他自治体、企業等との連携強化に努めます。

職員災害対応訓練

職員水防訓練

＜地域防災計画とは＞

地域防災計画は、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的として、草加市における災害対策の基本を定めるものです。

「震災対策編」「風水害対策編」「事故対応編」で構成

施策の柱②　消防力の強化

▸災害態様の変化に応じた消防力の増強を図るための人材育成を行うとともに、広報紙、ホームページのほか、各種イベントなどの機会を通じて、消防団員の取組内容の啓発や減少傾向にある消防団員の確保に努めます。

市広報誌・HPでの活動紹介

女性消防団員啓発イベント

施策の柱③　地域防災力の強化

▸「自らのまちは自ら守る」という理念に基づく自主防災組織を整備し、災害時に自らの命を守る行動が取れるよう、自主防災組織の育成や防災資機材等の整備、訓練の支援を通して、住民の自助の意識を向上させる活動を行います。

自主防災組織の訓練

防災講習会

施策９　危機管理体制の強化

市民アンケートでいただいた意見

①水害への不安

河川氾濫、排水能力、台風・ゲリラ豪雨、浸水・逆流

②情報収集の方法

防災行政無線が聞こえない、SNS、紙媒体、複数の情報手段

③地域の力の向上

町会、近隣住民、声かけ、防災イベント、自主防災

④要配慮者への支援

車いす利用者、高齢者、災害時に支援が必要な人

※画像は生成AIを活用して作成したイメージです。

施策10　地域安全の推進

施策の意図	地域で発生する犯罪や迷惑行為・危険行為を防止し、安全で安心な市民生活を実現します。

みなさんに伺いたいこと

●重要度が高いが、満足度が低い。満足度を上げるにはどうすればよいか

●まちの安全を守る自主防犯の輪を広げるにはどうすればよいか
（キーワード）防犯団体等の高齢化、防犯カメラ、つながりの希薄化

●市の防犯体制の構築に向けて

市民の体感治安を向上させるため、犯罪だけでなく迷惑行為等も防止できるよう、警察との連携をさらに強化するとともに、市民のニーズとプライバシー等への配慮を勘案しながら市の防犯体制を構築していく必要があります。

●タバコを吸う人と吸わない人の共存

タバコを吸う人と吸わない人が共存できる街づくりの実現を目指して、**市内の各駅での喫煙所設置**に向けて、設置場所の検討や関係機関との調整が必要です。

●自主防犯団体の担い手確保

自主防犯団体の構成員が高齢化しているため、チラシを配布するなどの啓発活動を通じて、新たな参加者を募る必要があります。

※画像は生成AIを活用して作成したイメージです。

施策10　地域安全の推進

施策の柱①　防犯活動の推進

▸地域で発生する犯罪、迷惑行為や危険行為が防止できるよう、安全で安心な市民生活の実現に必要な事業に取り組みます。

●「草加市犯罪被害者等支援条例」を制定

誰もがある日突然、犯罪被害者やその家族、遺族になり得るおそれがあります。

直接的な被害に加え、周囲からの心のない言動による二次被害からの早期回復・軽減ができるよう、条例を制定しました。

条例に基づき、相談や情報提供、見舞金の支給、日常生活の支援など、様々な支援を行っています。

施策の柱②　防犯意識の啓発促進

▸地域の住民が安心して暮らせる安全な社会を実現するために、**草加警察署や地域防犯推進員と連携**し、防犯キャンペーンの実施を積極的に進めます。

●防犯パトロールやキャンペーンの実施

警察や町会などの自主防犯団体、学校、地域防犯推進員等と連携して、パトロールやキャンペーンを実施しています。

施策10　地域安全の推進

市民アンケートでいただいた意見

①夜間の安全確保

暗い道路・街灯・痴漢への不安・駅前の滞留・暴走族、バイク騒音

②防犯設備の充実

防犯カメラ・街灯・交番・警察との連携

③交通安全

自転車の危険運転・通学路・横断歩道・道路上の危険行為

④地域による自主防犯

地域での見守り・ボランティア・町会・子どもの見守り

ご清聴ありがとうございました。
皆さんのご意見をお寄せください

●次のグループが意見を見られるように、ご意見はふせんに書いてください。

●大きい文字で「何が」「どうした」を書いてください。